

## 事業の基礎情報

|          |                                        |
|----------|----------------------------------------|
| 実施主体     | 河内長野市                                  |
| 事業実施地域   | 河内長野市                                  |
| 共創の類型    | 官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創                |
| 他分野共創の類型 | 観光・まちづくり                               |
| 共創パートナー  | 河内長野市、南海電気鉄道株式会社、南海バス株式会社、河内長野市社会福祉協議会 |
| 運行形態     | ①バス実証運行 ②デジタル乗車券導入実験                   |
| 運行主体     | ①南海バス株式会社 ②南海電気鉄道株式会社、南海バス株式会社         |

## 取組の概要

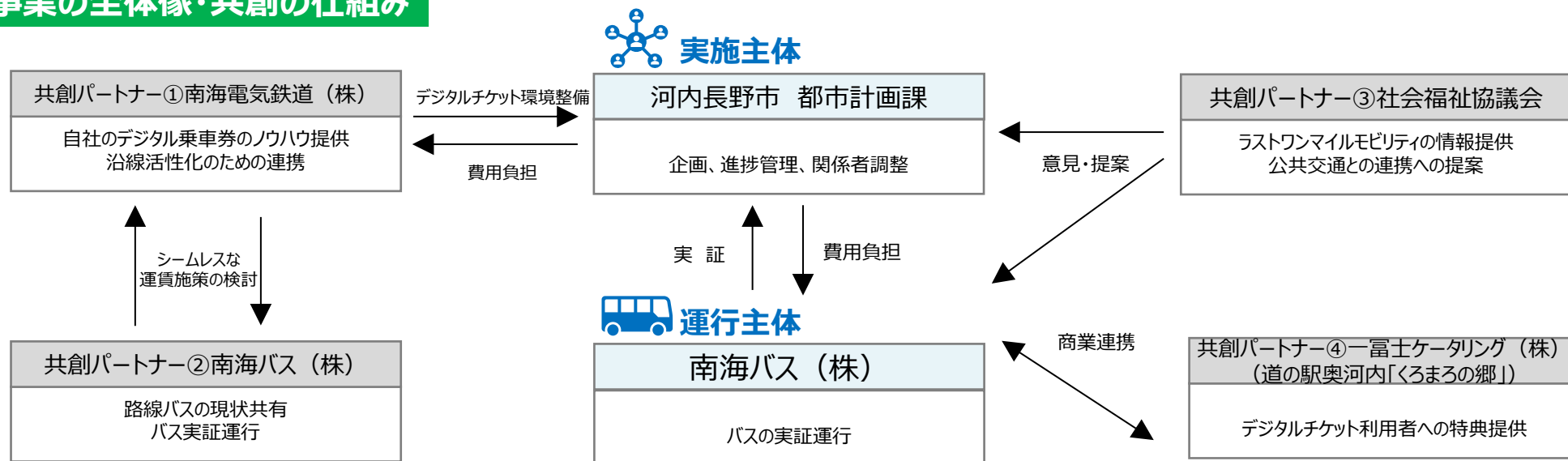
## （現状の地域課題と事業目的）

市内の主要な移動手段である路線バスは乗務員不足等から大規模な減便が避けられない状況となっており、鉄道やコミュニティバスなどの有効活用による相互補完を推進することで路線バスの負担を軽減しつつ、まちの変化にも対応した公共交通網への再編が急務となっている。そこで、再編の検討に必要な最新の移動需要把握や輸送資源間の輻輳区間の整理のためのデータ収集を目的とした①新ルートでのバス実証運行と、鉄道利用を促す等の相互補完機能の強化を目的とした②デジタル乗車券の導入実験を実施する。

## （事業の概要）

- ①市の新たな賑わい拠点である農産物直売所や商業地と、従来からの拠点（市役所、鉄道駅）を結ぶ新ルートでのバス実証運行を2か月間（往路3便、復路3便）実施し、利用実績（デジタル乗車券およびOD調査）やアンケート等を通して、コロナ後最新の需要に即した路線の再配置や輻輳区間の整理に活かす。
- ②バス交通に依存した市域内の移動体系から鉄道も組み入れた移動体系への転換を図り、持続性を高めた公共交通網に再編するため、バス実証運行に併せ、市内全域でバスと鉄道の相互利用を図るためのデジタル乗車券の導入実験（市内1日乗り放題）を実施し、バス実証運行ルートおよび市内全域での輸送実績の把握や相互利用のデータ収集に活用し、新たな運賃施策の導入に役立てる。

## 事業の全体像・共創の仕組み



## 取組の詳細

## （地域の関係者との連携・協働）

公共交通を担う主体が連携し、相互補完により公共交通網の最適化を推進することで、乗務員不足や利用者減に苦む交通事業者の体力強化に結び付け、結果、各々の公共交通事業の維持に繋げる。さらに、鉄道事業者は沿線価値の向上による公共交通事業の活性化、バス事業者は深刻化する乗務員不足への対応や最適な需給調整、市は市民生活に必要な交通網の持続性確保に繋げる。

また、ラストワンマイルを担う地域主体の活動を支援している社会福祉協議会とも連携することで、再編に際して、公共交通との効果的な連携について協働で検討し、様々な輸送資源が有機的に連携したネットワーク網を目指す。

**（実証事業により見込まれる効果）**

- ・減便での路線バスの延命ではなく、輸送資源の相互補完を高めることによる公共交通網の持続性確保。
- ・街の変化や最新の移動需要に対応した再編。
- ・相互利用によるデメリット（乗り継ぎによる運賃負担増）解消に役立つシームレスな運賃体系の構築。

## 取組の詳細

## (事業実施手順・スケジュール)

## バス実証運行

| R6年度 | 実施項目   | 内容                                                                       | 役割          |
|------|--------|--------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1Q   | 運行形態検討 | ・運行期間<br>・ルート（仮説バス停検討）、ダイヤ<br>・運賃<br>・鉄道や他路線等との結節<br>・商業との連携検討（利用者特典等）   | 全体          |
| 2Q   | 準備     | ・警察、道路管理者協議                                                              | 市、南海バス      |
|      |        | ・仮設停留所調整                                                                 | 市、南海バス      |
|      |        | ・周知（市広報、SNS、チラシ・ポスター、電車・バス車内広告等）<br>・デジタル乗車券の普及イベント検討（スマホ教室）             | 全体          |
|      |        | ・運輸局手続き                                                                  | 南海バス        |
|      |        | ・バス全車両へのデジタル乗車券用QR設置                                                     |             |
| 3Q   | 実施     | ・2カ月間実証運行                                                                | 南海電鉄、南海バス   |
|      |        | ・QRデータ収集（乗降数、相互利用実績等）                                                    |             |
|      |        | ・スマホ教室開催                                                                 | 市           |
|      |        | ・アンケート                                                                   | 市、南海電鉄、南海バス |
|      |        | ・バスOD調査（QRデータ補完※）                                                        | 南海バス        |
|      |        | ・プラットフォームおよび交通会議での結果共有                                                   | 全体          |
| 4Q   | 結果検証   | ・関係者結果検証<br>（最新需要に基づく路線の再配置検討、幅輾区間の整理、<br>他モードの結節性、鉄道・バス・コミバスの役割分担の見直し等） | 全体          |
|      |        | ・交通会議結果共有、意見聴取                                                           | 市           |
|      |        | ・再編の検討                                                                   | 全体          |

## デジタル乗車券

| R6年度 | 実施項目 | 内容                                                                                          | 役割          |
|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1Q   | 仕様検討 | ・エリア限定 1 日乗り放題<br>・販売価格、時期の決定<br>・収入配分、市補填のスキーム等<br>・販売方法、WEBデザイン、販売にかかる覚書締結等<br>・プレスリリース時期 | 市、南海電鉄、南海バス |
| 2Q   | 準備   | ・システム改修<br>・改札機整備（5 駅 6 箇所）                                                                 | 南海電鉄        |
|      |      | ・周知（市広報、SNS、チラシ・ポスター、電車・バス車内広告等）                                                            | 全体          |
|      |      | ・運輸局手続き                                                                                     | 南海電鉄        |
|      |      | ・バス全車両へのデジタル乗車券用QR設置                                                                        | 南海バス        |
|      |      |                                                                                             |             |
| 3Q   | 実施   | ・2カ月間実証運行                                                                                   |             |
|      |      | ・QRデータ収集（乗降数、相互利用実績等）                                                                       | 南海電鉄、南海バス   |
|      |      | ・アンケート                                                                                      | 市、南海電鉄、南海バス |
|      |      | ・バスOD調査（QRデータ補完※）                                                                           | 南海バス        |
|      |      | ・プラットフォームおよび交通会議での結果共有                                                                      | 全体          |
|      |      |                                                                                             |             |
| 4Q   | 結果検証 | ・関係者結果検証<br>（相互利用への貢献度・有効性、収入按分のスキーム<br>販売価格の検証、市補填の在り方検討等）                                 | 全体          |
|      |      | ・交通会議結果共有、意見聴取                                                                              | 市           |
|      |      | ・本格導入に向けた課題整理                                                                               | 全体          |

※デジタル乗車券の利用を鉄道で開始した後、バスに乗車する場合は既に 1 日乗車が有効なっているため、バスでQRコードの読み取りをしてもデータ取得ができない仕様のため。

## (補助事業実施後の予定)

再編においては、幅輾区間の整理等により、利用可能な路線バスの本数が減るなど、地点単位で見れば利便性の低下が避けられない側面があるが、鉄道やコミュニティバスの守備範囲を増やし、相互補完機能を強化することで、市全体のネットワーク性を維持し、路線バス廃止による新たな空白地の発生を回避する。また、鉄道バス共通のデジタル乗車券についても、導入実験の結果を元に価格設定や収入配分、公費負担等の課題を整理し、円滑な導入を目指す。